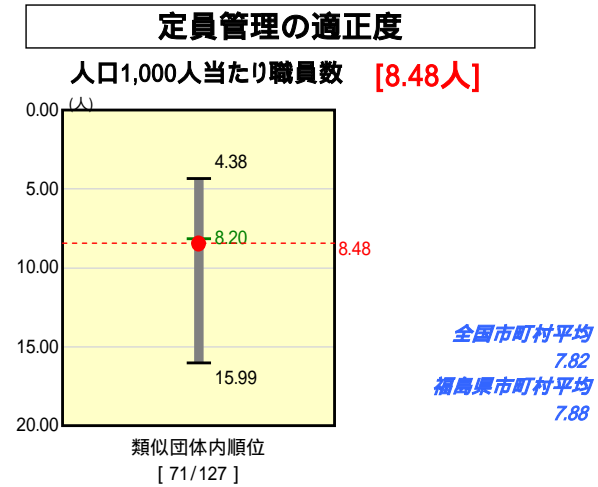
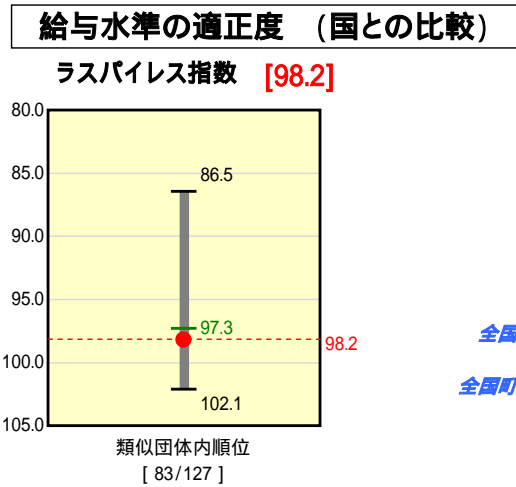
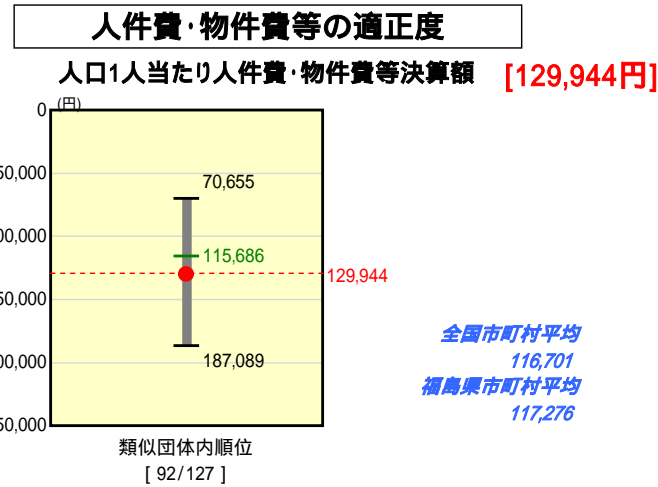
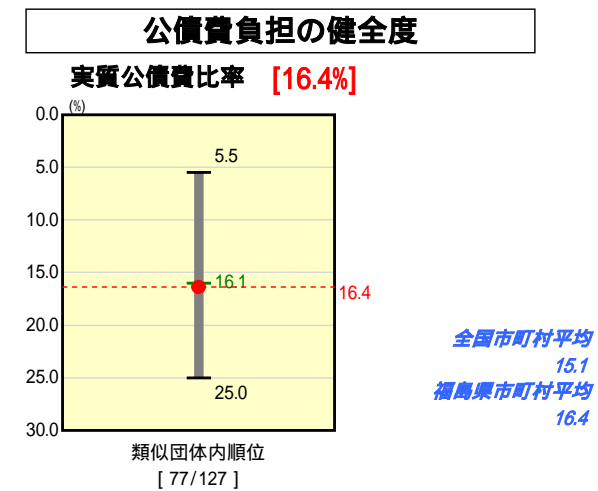
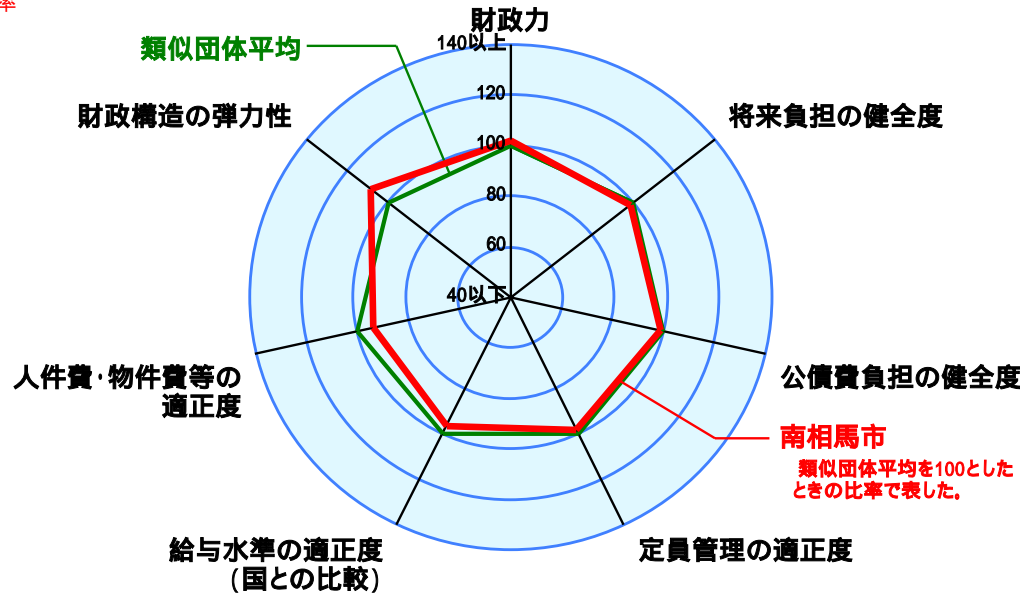
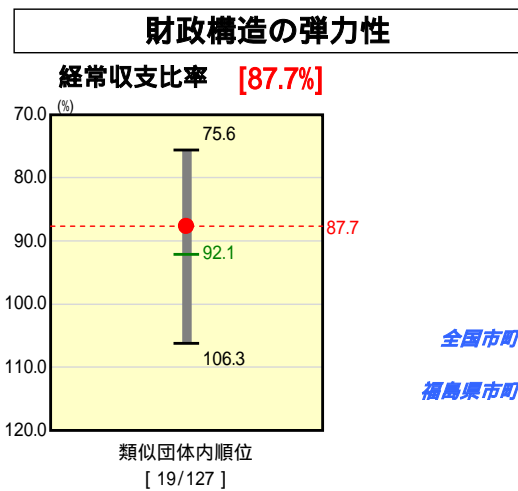
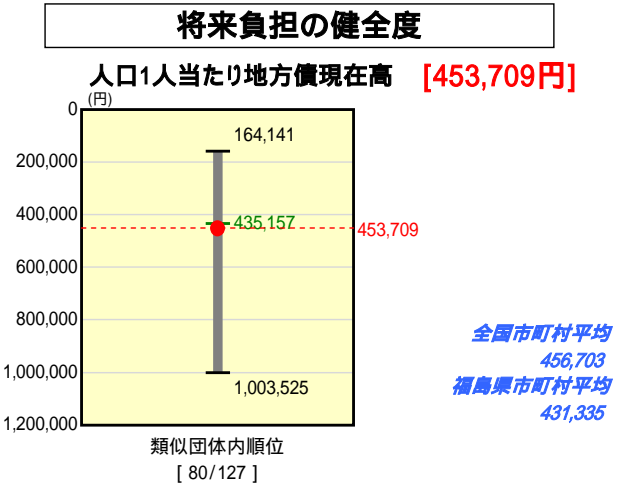
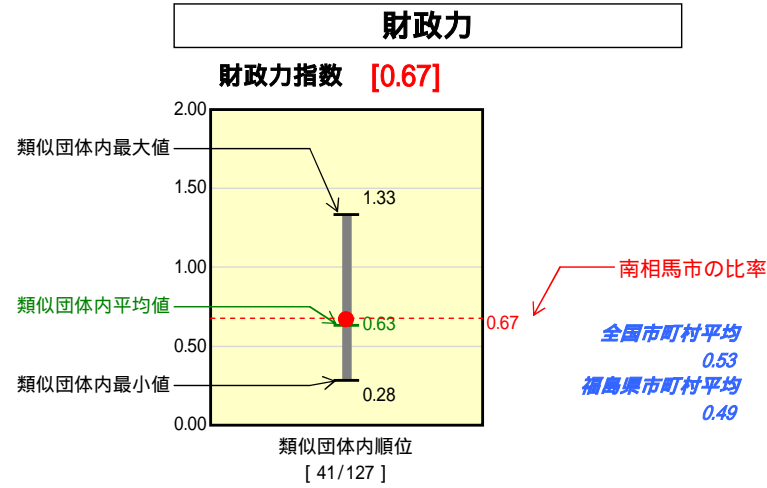


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 福島県 南相馬市

人口	73,038	人(H19.3.31現在)
面積	398.50	km <sup>2</sup>
歳入総額	29,717,254	千円
歳出総額	28,835,251	千円
実質収支	806,402	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

#### 【財政力指数】

市税のうち固定資産税で火力発電所の償却資産により平均値を上回っているものの、減価償却が進むことから減少の傾向にある。

#### 【経常収支比率】

少子高齢化に伴い扶助費や住民サービスの向上などにより経常経費が増加し、財政のゆとりが少なくなっている。今後、定員適正化計画による人件費の削減、事務の見直しにより経費の圧縮、事業評価等による施策・事業の重点選別に務める。

#### 【実質公債費比率】

前年度15.8%と比較すると、算定ルールの変更により数値が上昇した。今後、合併特例債の活用により市債残高は増加するものの、16~17%の適正範囲で推移する見込みである。

#### 【人口1人当たり地方債現在高】

常磐自動車道開通工事や小中学校耐震補強により発行額が増加し、類似団体の平均値を若干上回っている。毎年度財政計画を作成し、後世代の負担が過大にならないよう配慮しながら財政の健全化に努める。

#### 【ラスパイレス指数】

合併により新給与制度導入の遅れに伴い、類似団体を上回る水準となっている。平成20年4月に新給与制度導入により適正な運用に努める。

#### 【人口1,000人当たり職員数】

類似団体の平均値を上回っているが、市町村合併に伴うもので合併市町村共通の傾向である。今後定員適正化計画により、平成21年度末で現在の普通会計職員数の約10%を削減する。

#### 【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】

類似団体の平均値を上回っているが、合併市町村共通の傾向であり、また合併後間もないことからサービス水準の公平性の確保などの特殊事情もあり数値が高くなっている。今後、合併効果が得よう人件費や物件費など行政のスリム化及び経費の削減を図る。